

沖 縄

沖縄の景況は、個人消費、住宅建築、公共工事、観光が回復に向けた動きにあるなど、**拡大**。

個人消費は、消費税率引上げ前は駆け込み需要からスーパー販売が食料品、家庭用品を中心に増加、乗用車販売も増加したほか、新設の住宅着工に伴い家電品販売で太陽光発電システム、冷蔵庫、エアコンが増加するなど、回復。**住宅建築**は、持家、貸家が増加し、回復。**設備投資**は、建築着工床面積が増加するなど、緩やかな回復。**公共工事**は、県が増加するなど、回復。**輸出**は、石油製品、輸送用機器、魚介類および同調製品が減少し、一進一退。

生産活動は、横這い圏内の動き。

- ・ 金属製品、窯業・土石製品、食料品は生産水準が上昇したものの、鉄鋼、化学・石油製品が低下し、2月の鉱工業生産全体では前月比低下。
- ・ 3月の生コン出荷量は、公共工事向け、民間工事向けともに増加し、全体では5か月連続で前年比増加。セメント出荷量は、5か月連続で前年比増加。

観光は、国内客、外国人客ともに増加し、好調。

- ・ 3月の入域観光客数は、LCC（格安航空会社）の就航や新石垣空港開港の効果から、国内客が増加したほか、外国人客も航空路線の拡充などから増加し、全体では18か月連続で前年比増加。
- ・ 3月の主要ホテル客室稼働率は、17か月連続で前年比上昇。売上高は、4か月連続で前年比増加。
- ・ 3月の主要ゴルフ場入場者数は、県内客、県外客ともに増加し、全体では5か月連続で前年比増加。

雇用は、有効求人倍率が上昇するなど、回復に向けた動き。

先行きは、拡大の動きが強まるとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								